

## 授業科目

## 成人言語障害学演習II

担当教員名 内山 信	対象学年	3	対象学科	言語
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

## ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

## 授業の概要

成人脳損傷者に生じる言語・コミュニケーション障害（失語および右半球損傷・認知症・頭部外傷などによるコミュニケーション障害）の評価、診断、治療に必要な技法を演習を通して修得する。

## 授業の目的

臨床実習および国家試験において必要とされると失語症を中心とした言語・コミュニケーション障害とその評価、診断、治療についての基本的知識を習得する。

## 学習目標

1. 失語症総合検査の結果から、治療の手掛かりとなる掘り下げ検査を適切に選択し実施できる
2. 失語症に合併する他の高次脳機能障害に関連する検査を適切に選択し実施できる
3. 検査結果を解釈し、考察できる
4. コミュニケーション障害の問題点を抽出できる
5. 治療計画、治療プログラムを立案し、実施できる

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題	担当教員
1	演習概要	内山 信
2	掘り下げ検査演習 1	内山 信
3	掘り下げ検査演習 2	内山 信
4	掘り下げ検査演習 3	内山 信
5	失語症診断演習 1	内山 信
6	失語症診断演習 2	内山 信
7	失語症診断演習 3	内山 信
8	失語症治療演習 1	内山 信
9	失語症治療演習 2	内山 信
10	失語症治療演習 3	内山 信
11	失語症治療演習 4	内山 信
12	失語症治療演習 5	内山 信
13	失語症治療演習 6	内山 信
14	失語症治療演習 7	内山 信
15	まとめ	内山 信

## 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	脳卒中後のコミュニケーション障害 改訂2版	竹内愛子、河内十郎	共同医書出版社	2012年	5,600円+税	
	新編言語治療マニュアル	伊藤元信、笹沼澄子	医歯薬出版	2009年	6,400円+税	
	失語症のすべてがわかる本	加藤正弘・小嶋知幸 監修	講談社	2006年	1,200円+税	

	言語聴覚療法 臨床マニュアル 改訂第3版	平野哲雄ほか 編集	協同医書出版社	2014年	7,344円	
その他の資料						

#### 評価方法

レポートにより評価する

#### 履修上の留意点

#### オフィスアワー・連絡先

研究室：F302a

メールアドレス：makoto-uchiyama@nuhw.ac.jp

オフィスアワー：月曜10：30-11：30